



学級の代表・委員会の代表

4月23日（水）の朝、TV放送で任命式を行いました。4年生以上の学級委員と各委員会の委員長の任命です。学校に「学級委員」を必ず置かなければならない決まりはありません。統計をとっているわけではないので定かなことは言えませんが、少しずつ「学級委員」は減っているのではないのでしょうか。5、6年生が活動する委員会は、特別活動の中に位置付けられていますが、その委員長も絶対決めなければならないものではありませんし、「委員長」の任命式をしない学校も多いと思います。

では、なぜ潮見小学校ではそれを行うのかと言えは、「リーダーシップとはどういったものをみんなが学ぶ」ため、「リーダーを育てる」ためです。目標に向かって引っ張っていくリーダーシップもあれば、全体をカバーするように下支えをするリーダーシップもあります。「役割が人を育てる」ということもあります。その子の個性に応じたリーダーシップを発揮することを望みます。

「学級委員」は1学期間、各委員会の「委員長」は1年間、自分の役割を理解して、できることを進んでいき、自身の成長につなげてほしいと思います。「学級委員」は、優しい雰囲気クラスづくりのために、「委員長」は、アイデアを生かしてよりよい学校のために頑張っていくことを期待しています。他の子どもたちは、人任せにせず、リーダーと一緒に協力をしながら、様々な活動に取り組むはずで、リーダーを中心としたこれからの活動をしっかり見守っていきたいと思います。



1年生の給食が始まりました

4月22日（火）から、1年生の給食が始まりました。給食当番がエプロンを着て、食器や食缶を運んだり、配膳をしたりしました。給食を準備したり片付けたりするときには、決まりがあります。それを把握するためには、実際に経験をしなければなりません。給食当番を一通り経験すれば、「なるほどこんな感じであればいいんだ」ということが分かるはずですが、慣れるまでには、もうしばらく掛かりそうです。

給食を食べる様子を見ていると、みんなおいしそうに食べています。3時間目の終わり頃から、「給食はまだ？」という声も聞かれます。初日がカレーだったことも、1年生にはよかったようです。給食をしっかりと食べているので安心しています。

これからは、午後の授業も始まります。初めてのことを少しずつ体験していきますので、1年生にとって新鮮な毎日を送っているのではないかと思います。

